

## 家紋アロハに愛着

自分の家の家紋をアロハシャツに染め抜き、移民の歴史やふるさとへの愛着を深めようと、ワークシヨップが開催されました。体験は日本ハワイ移民資料館（西屋代）や服部屋敷（下田）など8月までに5回開催され、限定100着のオリジナルアロハシャツが作られる予定です。

6月11日と25日に日本ハワイ移民資料館で開催されたワークシヨップでは、型紙作りから染料の刷り込み、湯通しなど本格的な染め物の手順を体験。くつきりと白抜きされた家紋入りのアロハシャツに参加者は満足した様子でした。



## 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」強調月間である7月にあわせて3日、大島地区保護司会と更生保護女性会の皆さんが町内をパレードしました。大島庁舎前では、法務大臣からのメッセージを町長に手渡しました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動です。

## 有害鳥獣を供養

周防大島町では毎年、鳥獣による農作物被害が後を絶ちません。これに対し町では「有害鳥獣捕獲事業」により有害鳥獣の捕獲を実施しており、昨年度捕獲された鳥獣の供養が鳥獣供養碑（帯石観音下・昭和46年郡猟友会建立）前で行われました。周防大島町有害鳥獣捕獲対策協議会、大島郡猟友会、JA山口大島等関係者が参列し、農作物被害防止のために捕獲された鳥獣の供養を行いました。

周防大島町は「タヌキ」の生息地であり、その農作物被害も多く、捕獲実績もこれまで「タヌキ」が主でしたが、近年、「イノシシ」の生息も確認され、農作物被害、捕獲数においても毎年増加の傾向にあります。町では「イノシシ捕獲」にあたり、住民の皆様の「イノシシ被害・出没情報」の提供をお願いします。

■情報提供先／農林課または、最寄の総合支所

